

銅造誕生釈迦仏立像 1 軀



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	どうぞうたんじょうしゃかぶつりゅうぞう
所在地	倉敷市浅原
指定年月日	令和6年3月15日
解説	生まれてすぐに歩いて、右手を上げて、左手は地をさし「天上天下唯我独尊」と叫んだ釈迦の姿を表した誕生仏。 昭和 33(1958)年に、安養寺裏山経塚群(あんようじうらやまきょうづかぐん)(県指定史跡)の第二経塚で、箱形に積まれた石組の内部から出土。 経塚群は平安時代後期の造営で、本像も同じ時期に埋納されたと推定されるが、製作は天平勝宝6(754)年以降と考えられる。 本像は奈良時代後期から平安時代前期の製作で、県内に伝わる最古の誕生仏として貴重であり、経塚への埋納という歴史的経緯も注目に値する。
アクセス方法	山陽自動車道・倉敷ICから車で約5分 JR山陽本線・倉敷駅から車で約15分 イオンモール 倉敷から車で約12分 アリオ倉敷・三井アウトレットパーク倉敷から車で約11分
公開状況	安養寺成願堂にて常時公開(9:00～17:00)
設備	駐車場  トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(彫刻)
ぶんかざいめい (文化財名)	銅造誕生釈迦仏立像 1 軀
よみかた	どうぞうたんじょうしゃかぶつりゅうぞう
しょざいち (所在地)	倉敷市浅原
していしたひ (指定した日)	令和6年3月15日
せつめい	生まれてすぐに歩いて、右手を上げて、左手は地をさし「天上天下唯我独尊(てんじょうてんがゆいがどくそん)」と叫んだ釈迦(しゃか)を表した仏像です。 平安時代後期に造られた岡山県指定史跡の安養寺裏山経塚群(あんようじうらやまきょうづかぐん)で出土しています。 本像は奈良時代後期から平安時代前期に作られた、岡山県でも最も古い誕生仏(たんじょうぶつ)として貴重です。